

令和8年度 新規

緊急防災工事計画書

農村地域防災減災事業
(防災重点農業用ため池緊急整備事業)

ため池群勝間田川4期地区
いけぐん かつまたかわ き

事業主体	静岡県
------	-----

	目	次	
第1章 目 的	1	6. 級地別土地利用区分	16
第2章 地域及び地積	1	7. 土地配分計画	17
第1節 地 域	1	第3節 用水計画	17
第2節 地 積	1	1. 計画基準年	17
第3章 現 況	2	2. 計画かんがい方式	17
第1節 気象及び海象	2	3. 計画用水系統	17
1. 一般気象	2	4. 計画用水量	17
2. 特殊気象	2	5. 水源計画	18
3. 海 象	3	第4節 排水計画	21
第2節 土地状況	3	1. 計画基準雨量	21
1. 地形、土壌及び浸食の程度	3	2. 計画排水方式	21
2. 土地分類	4	3. 計画排水系統	21
3. 土地利用の状況	4	4. 計画排水量	21
4. 土地所有の状況	5	5. 排水対策	21
第3節 水利状況	5	6. 湛水検討	22
1. 用水状況	5	第5節 道路計画	22
2. 排水状況	7	1. 道路及び索道	22
3. 河川状況	9	2. 路線配置図	22
第4節 道路現況	9	第6節 農用地造成計画	23
1. 道路概況	9	1. 農用地造成計画	23
2. 主要道路一覧表	9	2. 土壌改良	23
第5節 地域農業の概況	10	第7節 洪水調節計画	23
1. 産業別就業人口	10	1. 計画基準雨量	23
2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	10	2. 計画洪水量及び調節量	23
3. 動力農機具及び主要家畜頭数	11	3. 貯水池	23
4. 主要作物作付状況	12	4. 洪水調節検討	23
5. 農業の動向	13	5. 管理計画	24
第6節 地域環境の概況	13	第8節 干拓計画	24
第4章 一般計画	14	第9節 農用地整備計画	24
第1節 事業計画の要旨	14	1. 区画整理	24
1. 要 旨	14	2. 暗渠排水	24
2. 事業別面積	14	3. 客 土	25
第2節 営農計画及び土地利用計画	14	4. 農地保全	25
1. 営農計画の概要	14	第10節 老朽ため池改修計画	26
2. 土地利用区分	14	1. 洪水吐改修計画	26
3. 作付方式	15	2. 堤体補強計画	26
4. 生産計画	15	3. 取水施設改修計画	26
5. 労働改善計画	16	第5章 主要工事計画	27
		第1節 用水施設	27
		1. 貯水池	27
		2. 頭首工	28

3. 揚水機	28	第3節 換地計画樹立の基本方針	39
4. 用水路	28	1. 従前の土地の面積の基準	39
5. その他かんがい施設	28	2. 用途別予定地籍	40
第2節 排水施設	29	3. 農用地集団化の方針	40
1. 排水水門	29	4. 非農用地の換地方法	40
2. 排水機	29	第4節 土地の評価及び精算の方法	41
3. 排水路	29	1. 評価の方法	41
4. その他排水施設	29	2. 精算の方法	41
第3節 道路及び索道	30	第5節 換地計画樹立の年度計画	41
1. 道路	30	第6節 換地処分の特則	41
2. 索道	30	第10章 事業費の総額及び内訳	42
第4節 農用地造成	30	第11章 効用	43
1. 農用地造成	30	第12章 関連する事業	43
2. 土壌改良	31	第13章 現況・計画図面	43
第5節 洪水調節施設	32	1. 計画一般図	44
1. 貯水池	32	2. 計画平面図・標準断面図・仮設平面図	45
2. 頭首工及び導水施設	32	3. 土地利用計画図	51
第6節 干拓施設	32		
1. 堤防	32		
2. 潮止め	32		
3. 付属施設	33		
4. 埋立	33		
第7節 農用地整備施設	33		
1. 区画整理	33		
2. 暗渠排水	34		
3. 客土	34		
4. 除礫	34		
5. 農地保全	35		
第8節 老朽ため池改修施設	36		
1. 貯水池	36		
2. 堤体補強施設	37		
第6章 附帯工事計画	37		
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	37		
第8章 環境との調和への配慮	38		
第9章 換地計画の概要	39		
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	39		
第2節 換地区の設定	39		
1. 換地区の名称, 所在, 面積	39		
2. 換地区を設定する理由	39		

第1章 目 的

耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では、地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時には、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす恐れがある。付帯施設についても、堤体の改修に合わせた一体的な施設整備が望まれている。

また、静岡県は、全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくないほか、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域 (第1表)

事 業 名	地 域
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	牧之原市 勝俣地内ほか

第2節 地 積 (令和7年12月 現在) (第2表)

事 業 名	現況地目	田	畑	原 野	山 林	その他	計	備 考
	市町村名	(ha)						
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	牧之原市	25.0	6.2				31.2	橋柄池、大沼池
								(ため池群勝間田川4期地区)
合 計		25.0	6.2	-	-	-	31.2	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(気象庁HP「過去の気象データ」より)

観測所名	静岡地方気象台	かんがい期 5月～9月	非かんがい期 10月～4月	年間 合計/平均	備考
観測期間	1985～2021				
平均気温		22.4 ℃	11.6 ℃	16.8 ℃	
降水量	平均	1499.2 mm	834.8 mm	2334.0 mm	
	基準年				
降水日数 (1.0mm以上)	平均	67日(月平均 11日)	44日(月平均 7日)	111日(月平均 9日)	
	基準年				
無霜期間(平年値)					
最多風向		NE	最大瞬間風速 33.7m/s(SW)		最多風速:1985～2021(16方位) 最大風速:1985～2021(16方位)

2. 特殊気象

観測所名	静岡地方気象台	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
		数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率
観測期間	S25～R3															
最大時間雨量	(mm)	111.5	H15.7.4 1	1/407	83.5	H3.9.14 2	1/42	81.5	H16.6.30 9	1/35	76.0	S49.7.7 22	1/23	73.5	S62.8.6 3	1/18
最大4時間連続雨量	(mm)	283.5	H15.7.4 0～3	1/688	253.5	S49.7.7 22～25	1/258	189.0	H16.6.30 7～10	1/31	162.4	S29.9.18 18～21	1/13	161.0	S58.6.24 3～6	1/13
最大日雨量	(mm)	401.0	R1.10.12	1/142	368.0	H16.6.30	1/80	318.0	H14.7.10	1/33	297.5	S57.9.12	1/23	288.5	H13.9.10	1/20
最大連続雨量	(mm)	508.0	S49.7.7 ～7.8	1/92	497.0	S57.9.10 ～9.12	1/81	414.0	R1.10.11 ～10.12	1/30	368.0	H16.6.30 ～6.30.14	1/17	363.5	H26.10.5.1 ～10.6	1/16
最大連続干天日数	(日)	55.0	H17.11.7 ～12.31	1/163	51.0	S.48.11.11 ～12.31	1/87	44.0	S61.1.5 ～2.17	1/29	41.0	H23.1.1 ～2.10	1/18	40.0	S37.1.2 ～2.10	1/16
三日連続雨量	(mm)	518.0	S49.7.6 ～8	1/92	497.0	S57.9.10 ～12	1/70	463.0	H15.8.14 ～16	1/45	414.0	R1.10.11 ～13	1/24	398.0	S58.8.15 ～17	1/20

3. 海 象

※該当なし

(第3表-3)

観測所名		既往最高潮 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
観測期間	年～年								
実測値									

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他						受益地標高 (m)		備考		
		1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計		最高	最低
										8°～10°	10°～15°	8°～15°						
農村地域防災減災事業 (防災重点農業 用ため池緊急整備事業)	面積 ha		9.9				9.9	2.3							2.3	70.7	3.6	
	比率 %		100				100	100						100				
	面積 ha																	
	比率 %																	
合計	面積 ha		9.9				9.9	2.3						2.3				
	比率 %		100				100	100						100				

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備考	
	土 壤 断 面								堆積様式	母 材	事 業 名				
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土 性						泥炭層, 黒泥層及びグライ層	農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	計		
					表土	下 層 土									
				一層	二層	三層	・・・								
上土方統	灰	あり	あり	なし	CL	CL	SiL		-	-		31.2		31.2	
掛川3統	黒褐	あり	あり	なし	CL	LiC	LiC		-	-					
萩間統	灰	あり	あり	なし	LiC	LiC	LiC		-	-					
計												31.2		31.2	

※該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガ リ 浸 蝕 の 程 度		備 考
		0	0~ 25%	25~ 50%	50% 以上	0	3mm 未 満	3~ 5mm	5mm 以 上	中 程 度 の も の	大 々 々 の も の	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土地分類

※該当なし

(第4表-2-1)

級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考	
	一級地 (ha)	二 級 地				三 級 地				四 級 地			
※		3° ~8°	8° ~12°	12° ~15°	※	15° ~20°	20° ~25°	25° ~30°	※	30° 以上			
市町村名													
計													※は傾斜以外の 要因によるもの

※該当なし

(第4表-2-2)

級地別	干				拓	計 (ha)	備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)			
市町村名							
計							

3. 土地利用の状況

(令和7年12月 現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	樹園地 (ha)	茶 園 (ha)	その 他 の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農村地域防災 減災事業 (防災重点農業 用ため池緊急整 備事業)	牧之原市	25.0	6.2									31.2	(ため池群勝間田川4期地区)	
												-		
												-		
合 計		25.0	6.2	-	-	-	-	-	-	-	-	31.2		

4. 土地所有の状況

(令和7年12月 現在)

(第4表-4)

事業名	所有別		個人所有	部落所有	市町村所有	国所有	計	備考
	区分							
農村地域防災 減災事業 (防災重点農業用 ため池緊急整備事 業)	面積 (ha)		31.2				31.2	
	受益者数 (人)						-	
	筆数 (筆)						-	
	権利関係		なし				-	
	備考 (関係戸数)						-	
合計	面積 (ha)		31.2				31.2	
	受益者数 (人)						-	
	筆数 (筆)		-				-	
	権利関係		なし				-	
	備考 (関係戸数)						-	

第3節 水利状況

1. 用水状況

現況と同じ

(1) 用水系統

現況と同じ

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権 (最大)		慣行水利権		延べ取水量 m ³ /S	備考
		10ha 以上		5~10 ha		5ha 未満		箇所	ha	箇所	m3/S	箇所	m3/S		
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農村地域防災 減災事業 (防災重点農業用 ため池緊急整備事 業)	貯水池	2	31.2					2	31.2						ため池群勝間田川4期地区
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
合計		2	31.2	-	0.0	-	0.0	2	31.2						

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模		新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名					堤長	堤高			
農村地域防災減災事業 (防災重点農業 用ため池緊急整備事業)	貯水池	橋柄池	28.4	傾斜遮水ブーン型	堤長 72.9m 堤高 14.0m	H17	耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時においては、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす状況である。 また、静岡県は全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおこしくない地震、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度とされているため、施設の耐震整備が急務となっている。			
		大沼池	2.8	均一型	堤長 28.0m 堤高 5.3m	H20				
					堤長 堤高					
					堤長 堤高					
	井堰									
	自然取入口									
	揚水池									
	用水路 その他									
合計			31.2							

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

※該当なし

(第5表-3-1)

事業名	系統名 項目	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m ³)	不足水量				平均減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m ³ /S)	基準年 (m ³ /S)	平均 (千m ³)	基準年 (千m ³)			
合計										

(イ) その他の被害状況

※該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(℃)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4)ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	19.4	2.4	19.8	41.6	30,486	-	302,441	-	896,378	1,229,305	
合計	19.4	2.4	19.8	41.6	30,486	-	302,441	-	896,378	1,229,305	

2. 排水状況

※該当なし

.....

.....

.....

(1)排水系統

※該当なし

.....

(2)排水施設

(ア)排水方法一覧表

※該当なし

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m3/S)	現況排水能力 (m3/S)	備考
			500ha 以上		500ha~100ha		100ha 未満		箇所	ha			
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
	合計												

(イ)改修を要する施設一覧表

※該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	施設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合計									

(3)排水に関する被害状況

※該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状(ha)						平均減産量		備考	
					湛水深 (m)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)		
									乾	湿	乾	湿	乾	湿				
			平均															
			基準年															
			平均															
			基準年															
合計		0.0	平均															
			基準年															

3. 河川状況

(1)河川の状況

※該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量	既往最大洪水量	備考
				(m ³ /S)	(m ³ /S)	

(2)洪水に関する被害状況

※該当なし

(第5表-8)

項目 河川名	農用地	農用施設	作物	公共施設	備考
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路現況

1. 道路概況

※該当なし

2. 主要道路一覧表

※該当なし

(第6表)

No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	道熱電 供気 給ガ 業水ス (人)	運通 信 輸業 (人)	飲卸 売食小 売店業 (人)	金保 険 融業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
牧之原市	23,875	2,501	4	137	24	1,734	8,064	90	1,276	3,609	262	204	5,159	521	290	令和2年 国勢調査
計	23,875	2,501	4	137	24	1,734	8,064	90	1,276	3,609	262	204	5,159	521	290	
比率(%)	100.0	10.475		0.6911		7.263	33.776	0.377	5.345	15.116	1.097	0.854	21.608	2.182	1.215	



2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

項目 市町村名	農家 総戸 数	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕地の分散状況		専兼業別農家戸数 (戸)			備 考	
		例 外 規 定 の 適 用 を 受 け る も の	0.3 ha ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 ha ~ 以上	自 給 的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1 戸 当 り 団 地 数	団 地 当 り 面 積	専 業	兼 業			
																						第 1 種	第 2 種		
牧之原市	1,641	119	158	223	131	75	164	151	66	19	9	526	0.2	0.1	1.1	1.4	0.0	1.4			1,061	—	—	2020年 農 林 業 セン サ ス (R2)	
計	1,641	119	158	223	131	75	164	151	66	19	9	526	0.2	0.1	1.1	1.4	0.0	1.4			1,061	0	0		
比率(%)	100.0	7.3	9.6	13.6	8.0	4.6	10.0	9.2	4.0	1.2	0.5	32.1	14.3	7.1	78.6	100.0	0.0	100.0			100.00	0.00	0.00		

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具										主要家畜								備考
	トラクター		動力田植機		コンバイン						乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)									
牧之原市	523	495	420	412	224	219					0	0	0	2	5,438	9	6	3	2020年農林業センサス(R2)
																			※動力農機具について未掲載のため 2015年を記載
計	523	495	420	412	224	219					0	0	0	2	5,438	9	6	3	
100戸当たり数量(台)	106		102		102														台/戸数
利用戸数割合(%)	30.2		25.1		13.3						0.0		0.1		0.5		0.2		戸数/農林業経営体数×100

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 名		牧之原市				計	平均	作付率 (%)	備 考
総耕地 面積 (ha)		2,409				2,409	2,409		
総本地 面積 (ha)		2,350				2,350	2,350		
区 分		作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量		
作物名		(ha)	(kg/10 a)	(ha)	(kg/10 a)	(ha)	(kg/10 a)		
田	表作	水稻	499	546		499	546	21%	総耕地面積 ・2020年農林業センサス (R2) 作付面積・単位面積当たり収量 総本地面積の算定 ・本地面積／総面積 (牧之原市) $3,648 / 3,740 = 0.9754$ ・総耕地面積×0.9754 = 総本地面積 本地面積記載最終年度 第37次 静岡農林統計年報 (H元) P28 参照
	裏作								
小 計		499				499			
畑		だいこん	34	1,810		34	1,810	1%	
		冬レタス	126	3,310		126	3,310	5%	
		大豆	1	97		1	97	1%	
	小 計		161				161		
樹園地									
	小 計								
計		660				660		29%	
市町村別延べ作付率 (%)		29%							

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備考
		B (H27)	A (現在)		B (H27)	A (現在)	作物名	B (H27)	A (現在)	家畜名	B (H27)	A (現在)	農機具名	B (H27)	A (現在)		
変化 の 状況 (C年 を100 とする 指数)	総農家数	89	67	耕地	90	78	水稲	97	93	乳用牛	0	0	動力田植機	70	70	A:現在 令和2年 (農林業センサス2020) B:平成27年 (農林業センサス2015) C:平成22年 (農林業センサス2010)	
	専業農家数	110	213	田	85	70	だいこん	88	85	肉用牛	0	0	トラクター	81	81		
	第一種兼業 農家数	65	-	畑	107	128	冬レタス	96	98	豚	159	134	コンバイン	90	90		
	第二種兼業 農家数	91	-	樹園地	90	77	大豆	75	25	採卵鶏	0	0					
	農 業 従事者数	55	76														
変化 の 理由	社会経済の発展や農業構造の発展が進み、他産業への就労機会の増大により総農家数が減少傾向にある。			基盤整備等による変化			営農形態の変化			生産環境の変化			農業経営の変化による				

第6節 地域環境の概況

市街地の背後に位置する森林は、木材の供給はもとより、土砂流出などの国土の保全や野生鳥獣の生息地になっているとともに、市街地への新鮮な大気の供給などの公益的機能を持ち、その大切さが認識されてきている。

しかし、市街地の周辺においては、都市的な土地利用への転換に伴って樹林地が徐々に減少しつつあり、また、地権者の高齢化や薪炭林としての利用価値が失われたことなどにより管理が放置され、荒廃した樹林地が多くなっている。荒廃した樹林地は、樹木が密生してうっそうとし、人が近づきにくい環境であるとともに、様々な機能を持った森林空間としての存在価値も著しく低下していると考えられる。

このようなことから、本市の市街地を取り巻くまとまった森林は、都市的な発展と調和させ、保全・活用を図るための方策を検討し、自然環境との共存共生システムを次世代へと受け継いでいくことが重要である。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では、地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時においては、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす恐れがある。付帯施設についても、堤体の改修に合わせた一体的な施設整備が望まれている。

また、静岡県は全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくない地震、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農村地域防災減災事業						ため池整備事業						計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	山林 (ha)	市街地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	山林 (ha)	市街地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
ため池改修	24.2	4.2				28.4							28.4	橋柄池
	0.8	2.0				2.8							2.8	大沼池
計	25.0	6.2				31.2							31.2	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

※該当なし

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)											
農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業	現況	25.0	6.2					31.2				31.2	橋柄池、大沼池
	計画	25.0	6.2					31.2				31.2	
計	現況	25.0	6.2					31.2				31.2	
	計画	25.0	6.2					31.2				31.2	

3. 作付方式

播種○ 定植× 収穫△

(第9表-2)

事業名	項目	地目	区分 作物	1 年 目												2 年 目														
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
				防災重点農業 農村地域防災 減災事業 ため池緊急 整備事業	現況	水田(表)	水 稲					×	×	—	—	△	△						×	×	—	—	△	△		
計画	水田(表)	水 稲						×	×	—	—	△	△							×	×	—	—	△	△					

4. 生産計画

※該当なし

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳		備考
	地目名			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減量	単位面積当 収量増加	
		裏作															
	普通畑	春夏作															
		秋冬作															
		計															

5. 労働改善計画

※該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 地目名	作物名	作付面積	単位面積当り労働投下量 (hr/10a)				備考	
				区分	現況	計画	増減		
				人 力					
				機 械					
					人 力				
					機 械				
					人 力				
					機 械				
					人 力				
					機 械				
	計		0.0						

6. 級地別土地利用区分

※該当なし

(第9表-5)

土地利用 区分	区分 級地名	農 用 地 造 成					干 拓					備考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
	田											
	輪換耕地											
	畑											
	普通畑											
	牧草畑											
	樹園地 (果樹園)											

7. 土地配分計画

※該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)							備 考	
		田	輪換耕地	畑						計
				普通畑	牧草畑	樹園地				

第3節 用水計画

- 1. 計画基準 ※該当なし

- 2. 計画かんがい方式 ※該当なし

- 3. 計画用水系統 ※該当なし

4. 計画用水量

(1)かんがい用水

※該当なし

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)	水 田 かん が い			畑地かんがい			田 畑 輪 換					消 費 水 量 (m3/S)	損 失 量 (m3/S)	粗 用 水 量		備 考
		事業名	普通期	代 掻 期	面 積	1 日 当 り 計 画 平 均 かん水深	平 均 間 断 日 数	面 積	水 田 かん が い			畑 地 かん が い				平 均 最 大		
		農村地域 防災減災 事業 防災重点 農業用ため池緊急 整備事業							計 画 平 均 単 位 用 水 量	計 画 代 掻 単 位 用 水 量	普通期	代 掻 期	面 積				1 日 当 り 計 画 平 均 かん水深	
			(mm/日)	(mm/日)	(ha)	(mm/日)	(mm)	(ha)	(mm/日)	(日)						(ha)		

(2) 営農飲雑用水

※該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積			日当り給水量		補給回数	関係戸数	備考
		事業名			単位給水量	最大給水量			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画

※該当なし

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千m3)	有効雨量 b (千m3)	純用水量 c=a-b (千m3)	粗用水量 d=α(1-a) (千m3)	現況利用可能水量			不足量		水源保存量		水源 工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量 e (千m3)	田畑面 利用可能量 f (千m3)	純不足量 g=c-f (千m3)	全不足 水量 h=d-e (千m3)	水源名	水量 (千m3)		

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)			有効貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接	田	畑・その他	計					
橋柄池	0.127	-	24.2	4.2	28.4	48.7			0.225	
大沼池	0.014	-	0.8	2.0	2.8	2.0			0.020	
計	0.141	-	25.0	6.2	31.2					

(イ) 井堰及び自然取入口

※該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設	河川名	流域面積	かんがい面積 (ha)			取水量		渇水量 (m ³ /s)	備考
			事業			最大 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)		
			地区内	地区外	計				
							-		

(ウ) 揚水機

※該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機				備考
		事業			最大 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
		地区内	地区外	計							

(エ)用水路

※該当なし

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最 大 通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
	地区内	地区外	計				

(オ)その他の水源

※該当なし

(3)水温水質

※該当なし

第4節 排水計画

- 1. 計画基準雨量 ※該当なし
- 2. 計画排水方式 ※該当なし
- 3. 計画排水系統 ※該当なし
- 4. 排水量

※該当なし

(第11表-1)

排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (ha)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m3/s)		基底流量 (m3/ha)		全洪水量 (m3/s)			単位排水量 (m3/s/ha)		備考
	事業			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
	農地	その他	計			自然排水						機械排水				
				計	計	計										
計																

5. 排水対策

(1) 排水水門

※該当なし

(第11表-2)

排水系統名	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水本川			備考
		事業			排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
		農地	その他	計						

(2) 排水機

※該当なし

(第11表-3)

排水系統名	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機			備考
		事業			排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
		農地	その他	計						

(3)排水路

※該当なし (第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計排水量 (m3/S)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業						計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)		
		農地	その他	計							

(4)その他

6. たん水検討

※該当なし (第11表-5)

系統名	受益面積 (ha)	計画洪水量 (m3/S)	既設排水能力 (m3/S)	必要排水能力 (m3/S)	排水方式	標高			湛水状況(許容湛水位以上)			備考	
						田面標高	計画外水位	最高外水位	最大湛水面積	計画内水位	最大湛水時間		

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1)道路

※該当なし (第12表-1)

路線名	項目 幅員 (有効) × 延長 (m)	構造	既設道路との関係	備考

(2)索道

※該当なし (第12表-2)

路線名	項目 能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図

※該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

※該当なし

(第13表-1)

項目 地目名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

2. 土壌改良

※該当なし

(第13表-2)

項目 区分	面積	土壌	pH		置換酸度 (V)	リン酸吸収 係数 (ma/100a)	ha 当り 所 要 量			備考
			H O	K C I			石 灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

※該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

※該当なし

(第14表-1)

地 点	流 域 面 積 (km ²)	洪 水 到 達 時 間 (hr)	計 画 洪 水 量 (m ³ /s)	安 全 洪 水 量 (m ³ /s)	必 要 調 節 量 (m ³ /s)	ピーク時 調 節 の 量 (m ³ /s)	ピーク時 調 節 後 流 量 (m ³ /s)	調 節 後 最 大 流 量 (m ³ /s)	調 節 前 後 の 最 大 流 量 の 差 (m ³ /s)	最 大 調 節 量 (m ³ /s)

3. 貯水池

※該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流 域 面 積		計 画 洪 水 量 (m ³ /s)	貯 水 量			計 画 調 節 流 量 (m ³ /s)	可 能 調 節 流 量 (m ³ /s)	備 考
	直 接 (km ²)	間 接 (km ²)		有 効 (千m ³)	洪水調節容量 (千m ³)	多 目 的 (千m ³)			

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

※該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

※該当なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

※該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構 ※該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準 ※該当なし
- (3) 洪水調節要領 ※該当なし

第8節 干拓計画

※該当なし (第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮水位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画形状

※該当なし (第16表-1)

長辺 × 短辺	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差 (cm)	備考

(2) 表土扱い

※該当なし (第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考

(3) 末端道水路配置図

※該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

※該当なし (第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壤統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方式	備考
			計						

(2)心土破碎

※該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	土壌硬度	備考
	事業名					
			計			

3. 客土

※該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当り 客土量 (m ³)	土壌の性質		備考
	事業名				現況	計画	現況	計画		受益地 (%)	採土地 [客土材料](%)	
			計		平均	平均	平均	平均				

4. 農地保全

(1)防災林

※該当なし

(第16表-5-1)

項目 区分	項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2)排水工

※該当なし

(第16表-5-2)

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

※該当なし

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

..... 橋柄池:136.1mm/hr 大沼池:161.5mm/hr

(2) 計画洪水量

..... 橋柄池:3.92m³/s 大沼池:0.57m³/s

2. 堤体補強計画

..... 橋柄池 上下流ともに改良土置換えと基礎部の改良により、耐震性を確保する。

..... 大沼池 上流側は基礎部の固化処理、下流側は押え盛土により耐震性を確保する。

3. 取水施設改修計画

..... 橋柄池 緊急放流機能を有する斜樋と底樋に改修する。

..... 大沼池 斜樋はスライドバルブ巻き上げ型式とし、底樋はプレキャスト底樋管に改修する。

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称	ため池群勝間田川4期			位置		牧之原市 勝間 地内			橋柄池		
	型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	基盤・地盤地質	貯水量 (千m ³)		備考	
直接		間接	総貯水量					有効貯水量			
堤体	傾斜遮水ゾーン型	0.127		13.50	72.9	49.00		44.9	44.9		
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)	備考	
	越流堰式	3.92			スライドバルブ巻上式	0.14		-	-		

名称	ため池群勝間田川4期			位置		牧之原市 勝間 地内			大沼池		
	型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	基盤・地盤地質	貯水量 (千m ³)		備考	
直接		間接	総貯水量					有効貯水量			
堤体	傾斜遮水ゾーン型	0.014		5.9	28.0	2.66		2.0	2.0		
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)	備考	
	水路流入式	0.57			スライドバルブ巻上式	0.05		-	-		

2. 頭首工

※該当なし

(第17表-2)

名称	型式	位置			取水位 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備考
		堤体 (m)	堤長 (m)	計				
		固定部	可動部					

3. 揚水機

※該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /S)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考	
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力	台数 (台)		

4. 用水路

※該当なし

(第17表-4)

項目 水路名	支配面積 (ha)			通水量 (m ³ /S)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	地区内	地区外	計		総延長	開渠	その他				

5. その他のかんがい施設

※該当なし

(第17表-5)

施設名	項目	構造	規模	数量	備考

第2節 排水水門

1. 排水水門

※該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位	外水位	排水量	備考
				(m)	(m)	(m ³ /S)	

2. 排水機

※該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /S)	揚程 (m)			排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程		形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力	台数 (台)	

3. 排水路

※該当なし

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m ³ /S)	延長 (m)			構造	備考
	地区内	地区外	事業計		総延長	開水路	その他		

4. その他排水施設

※該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1)道路の総括表

※該当なし

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅員 (m) × 延長 (m)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				

(2)道路主要構造物

※該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索道

※該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				型式	動力	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成工

(1)抜根

※該当なし

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当り本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(2)除礫

※該当なし

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当り平均除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(3)開墾作業

※該当なし

(第20表-3)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	造成工法			
	計			

(4)地目変換

※該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	計			

(5)末端水路等

※該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(6)末端排水路等

※該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 土壤改良

※該当なし

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石炭量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	計					

第5節 洪水調整機能

1. 貯水池 **※該当なし**

2. 頭首工及び導水路

(1)頭首工

※該当なし

(第21表-1)

名称	集水面積 (km ²)		位置		計画洪水位 (m)	付帯施設備	備考
			堤長 (m)				
型式	集水面積 (km ²)	堤高 (m)	固定部	可動部	計		

(2)導水路

※該当なし

(第21表-2)

水路名	項目	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
			総延長	トンネル	その他			

第6節 干拓施設

1. 堤防

※該当なし

(第22表-1)

項目	型式 (m)	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土高 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	
名称									

2. 潮止め

※該当なし

(第22表-2)

項目	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考
名称							

3. 付属施設

※該当なし

4. 埋立

※該当なし

(第22表-3)

項目 名称	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

※該当なし

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 千m ³	面積 (ha)	土量 千m ³	

(2) 末端用水路等

※該当なし

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(3) 末端排水路等

※該当なし

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

※該当なし

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)		集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
	事業名	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
0.0																
計																

(2) 心土破碎

※該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

3. 客土

※該当なし

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha)			客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名	計						
計								

4. 除礫

※該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5. 農地保全

(1) 防災林

※該当なし

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植 栽 本 数 (本)	備 考
計						

(2) 排水路

※該当なし

(第23表-8)

項目 区分	延 長 (m)	流 量 (m ³ /s)	構 造	備 考
計				

(2) 侵食防止工

※該当なし

(第23表-9)

項目 名 称	構 造	数 量	備 考
計			

第8節 ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名称	ため池群勝間田川4期				牧之原市 勝俣 地内 橋柄池			
	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	堤長幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
堤体	遮水傾斜ゾーン型	0.127	13.5	72.9	49.00	4.8	44.9	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考
	越流堰式	3.92	0.55			スライドバルブ巻上式	0.143	
名称	ため池群勝間田川4期				牧之原市 勝間 地内 大沼池			
	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	堤長幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
堤体	均一型	0.014	5.9	28.0	2.7	3.3	2.0	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考
	水路流入式	0.57	0.40			ヒューム管	0.045	

2. 堤体補強施設

(1) 堤体改修

橋柄池 上下流ともに改良土置換えと基礎部の改良により、耐震性を確保する。

大沼池 上流側は基礎部の固化処理、下流側は押え盛土により耐震性を確保する。

(2) 漏水防止工

第6章 付帯工事計画

※該当なし

第7章 工事の着手及び完了予定時期

着 手：令和 8 年度

完 了 予 定：令和 13 年度

第8章 環境との調和への配慮

本地区の工事期間中は、ため池上流部を掘り、水をためることなどを行い、ため池に生息する生物を一時退避させるように配慮する。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

※該当なし

.....

.....

.....

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

※該当なし

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)	備考
計			

2. 換地区を設定する理由

※該当なし

.....

.....

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

※該当なし

2. 清算の方法

※該当なし

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
※該当なし				

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

※該当なし

.....

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業種目 \ 項目	事業量	事業費	備考
工事費	1.0 式	806,000 千円	
測量及び試験費 用地費及び補償費 換地費 小計	1.0 式 1.0 式 1.0 式	30,000 20,000 50,000	
合計		856,000	
事務費	1.0 式	41,000	
総事業費		897,000	

第 1 1 章 効 用

(第27表)

事業名	区分	増加見込効果額 (千円)	増加見込所得額 (千円)	備考
農村地域 防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業	営農経費節減効果			食料の安定供給の確保に関する効果
	維持管理費節減効果	△ 152		〃
	災害防止効果 (農業関係資産)	15,947		農業の持続的発展に関する効果
	〃 (一般資産)	42,937		農村の振興に関する効果
	〃 (公共資産)			多面的機能の発揮に関する効果
				総費用 (現在価値化) 685,089 千円
				総便益額 (現在価値化) 927,538 千円
				総費用総便益比 1.35
	計	58,732		

第 1 2 章 関連する事業

※該当なし

第 1 3 章 現況・計画図面

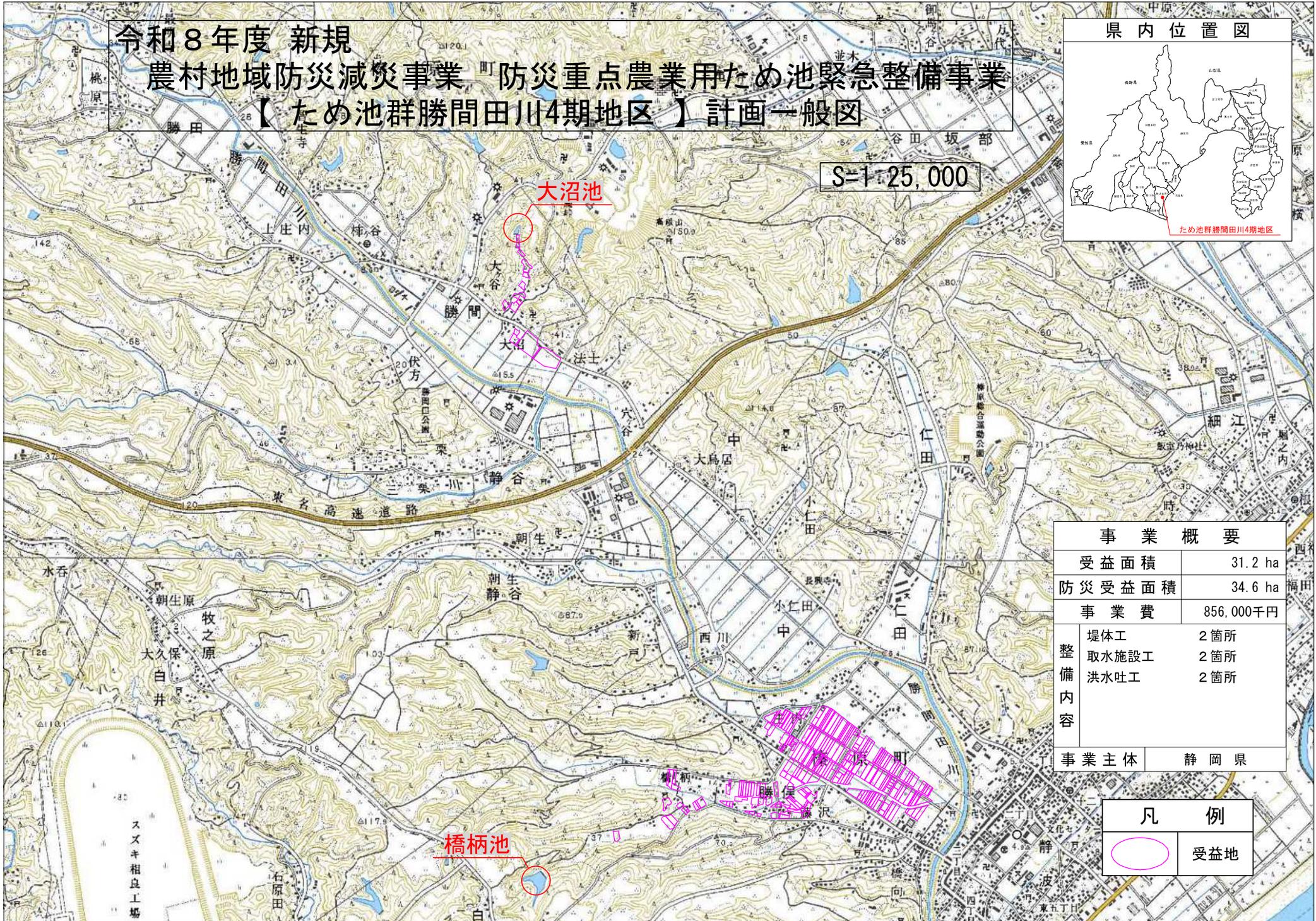
1. 計画一般図

2. 計画平面図・標準断面図・仮設平面図

3. 土地利用計画図

令和8年度 新規
 農村地域防災減災事業 町防災重点農業用ため池緊急整備事業
 【ため池群勝間田川4期地区】計画一般図

S=1:25,000

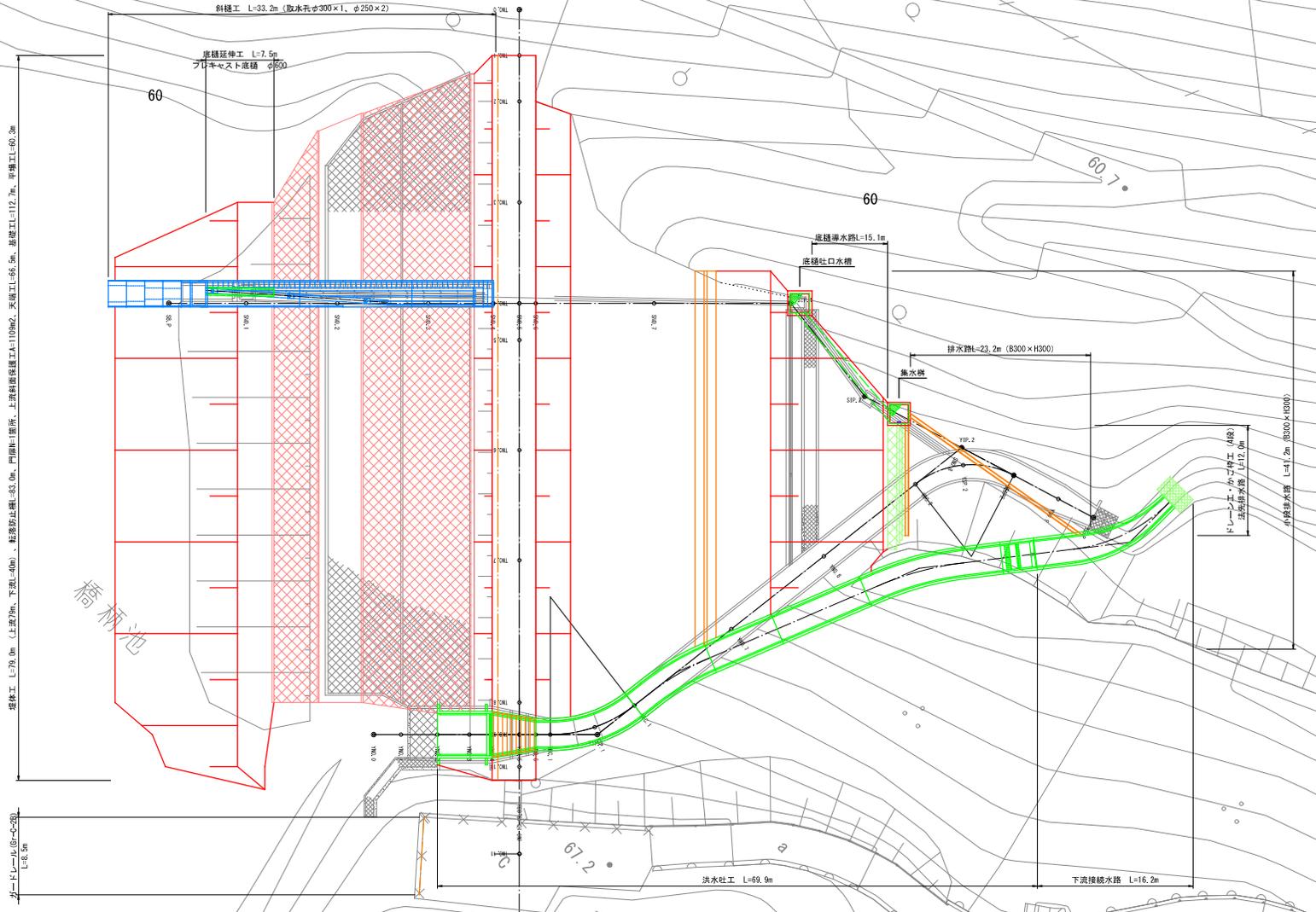


事業概要	
受益面積	31.2 ha
防災受益面積	34.6 ha
事業費	856,000千円
整備内容	堤体工 2箇所
	取水施設工 2箇所
	洪水吐工 2箇所
事業主体	静岡県

凡例	
	受益地

計画平面図

S-1: 250
S-1: 500

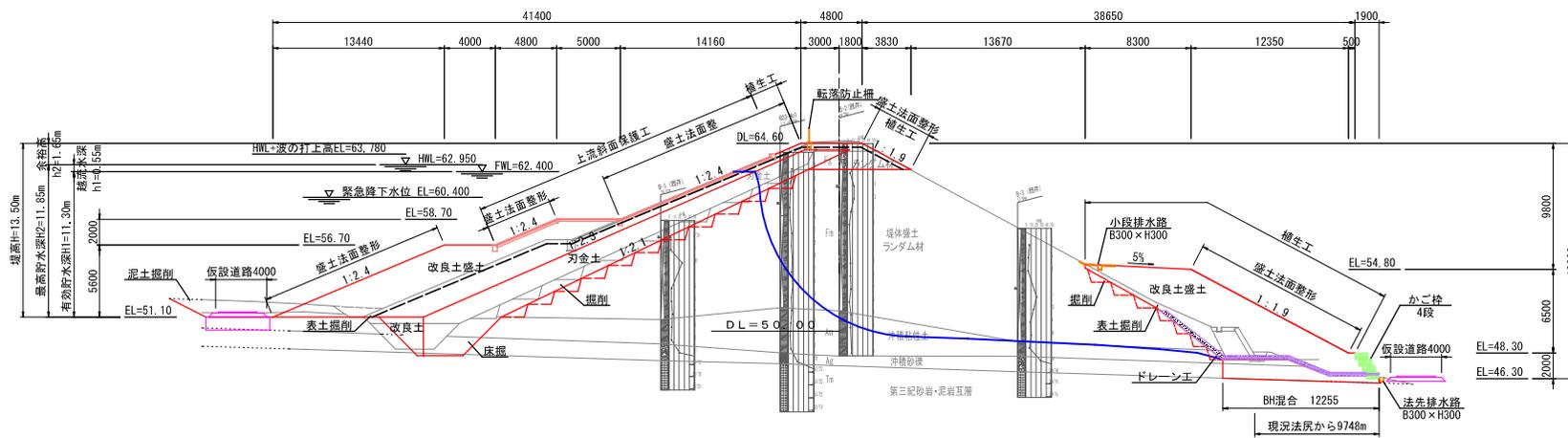


令和5年度 震災対策農業水利施設整備事業(耐震性点検・調査計画)静岡14期(志木橋原)地区設計委託その3

図面の名称		図面の番号
橋柄池	計画平面図	1
縮尺	図示()はA3縮小	
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
原因		
図		
事務所長	主任	
主幹課長	係員	

標準断面図

S=1:200
(S=1:400)



※標準断面はNO.5とNO.6の複合断面とする。

上流土工数量

表土掘削	14.0
泥土掘削	15.6
床掘	19.8
掘削	109.1
切土面荒仕上	35.1
コアゾーン 填入土盛土 (BUL+人力)	6.2
ランダムゾーン 填入土盛土 (BUL+機械)	79.9
ランダムゾーン 改良土盛土 (BUL+機械)	-
改良土 (基礎部)	89.8
改良土 (基礎部)	6.0
盛土法面整形	39.4
植生工	6.4

土質定数一覧

土層区分	記号	湿潤重量 KN/m ³	飽和重量 KN/m ³	粘着力 KN/m ²	内部摩擦角 °	透水係数 m/sec
改修盛土	Fh	18.4	18.9	23.5	27.5	2.70×10 ⁻⁷
旧堤体盛土	Fg	18.6	19.6	1.0	30.0	-
旧堤体盛土	Fm	18.7	19.0	19.2	22.2	1.24×10 ⁻⁴
沖積粘性土	Am	18.9	19.1	33.0	21.4	-
沖積砂礫層	Ag	18.6	19.6	1.0	32.0	7.71×10 ⁻⁶
新第三紀軟岩	Tm	19.1	19.1	245	21	-
刃金土		19.0	19.8	5	30	1.0×10 ⁻⁷
改良土盛土		19.0	19.8	50	0	-
改良土 (基礎部)		19.0	19.8	100	0	-
BH混合		18.6	19.6	90	0	-

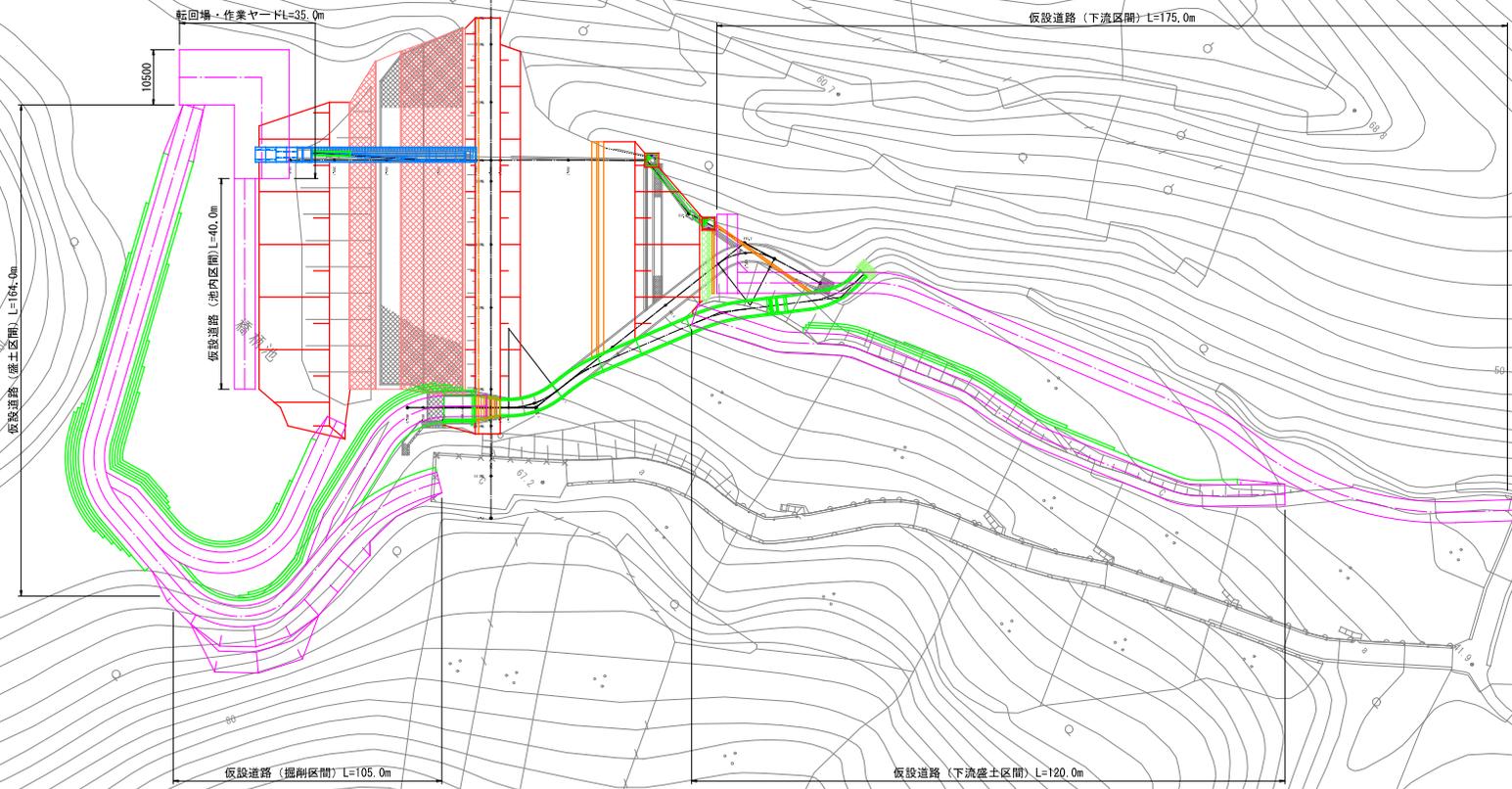
下流土工数量

表土掘削	15.1
掘削	4.3
切土面荒仕上	13.0
ランダムゾーン 改良土盛土 (BUL+人力)	2.6
ランダムゾーン 改良土盛土 (BUL+機械)	71.4
BH混合	12.3
盛土法面整形	14.0
植生工	22.8

令和5年度 震災対策農業水利施設整備事業 (耐震性点検・調査計画) 静岡14期 (浜木橋原) 地区設計委託その3

図面の名称	図面の番号
橋柄池 堤体工標準断面図	3
縮尺 図示 () はA3縮小	
測量	平成 年 月 日終了
設計	
建図 原図	
建図 謄写	
事務所長	主任
主幹課長	係員

仮設平面図
 S=1:500
 (S=1:1000)



令和5年度 震災対策農業水利施設整備
 事業 (耐震性点検・調査計画) 静岡14期
 (赤木橋原) 地区設計委託その3

図面の名称*		図面の番号
橋柄池	仮設平面図	12
縮尺	縮尺 () はA3縮小	
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図		
監写		
事務所長	主任	
主幹課長	係員	

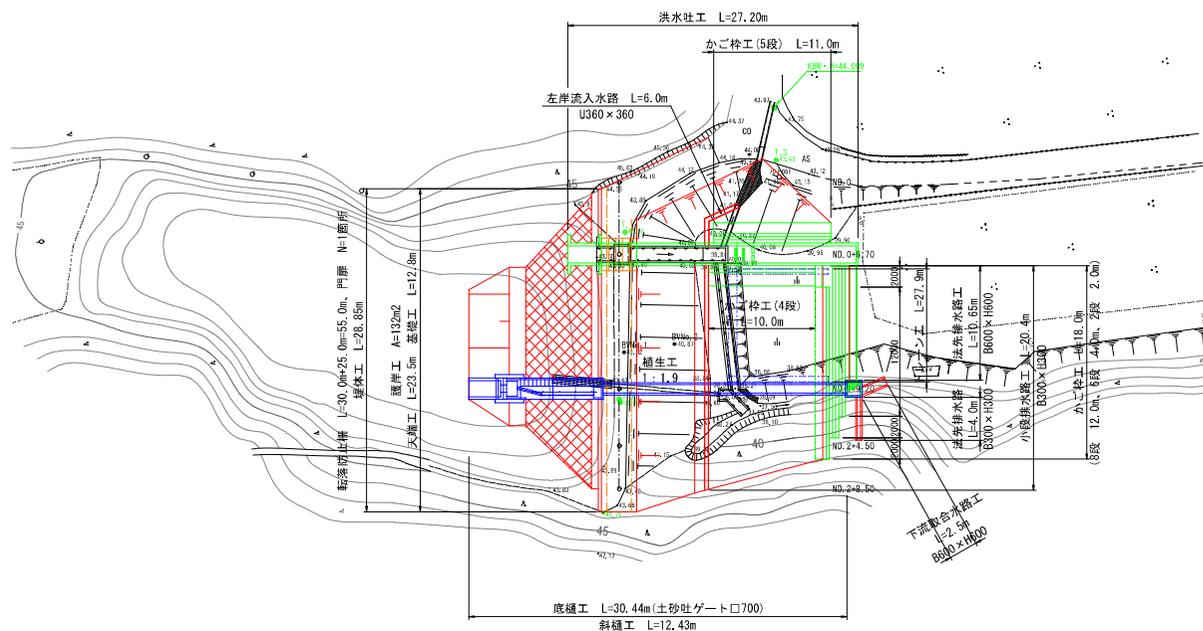
平面図

S=1:250 (A1)
S=1:500 (A3)

牧之原市 勝間

S=1:250 (A-1)

S=1:500 (A-3)



基準点座標 (任意)

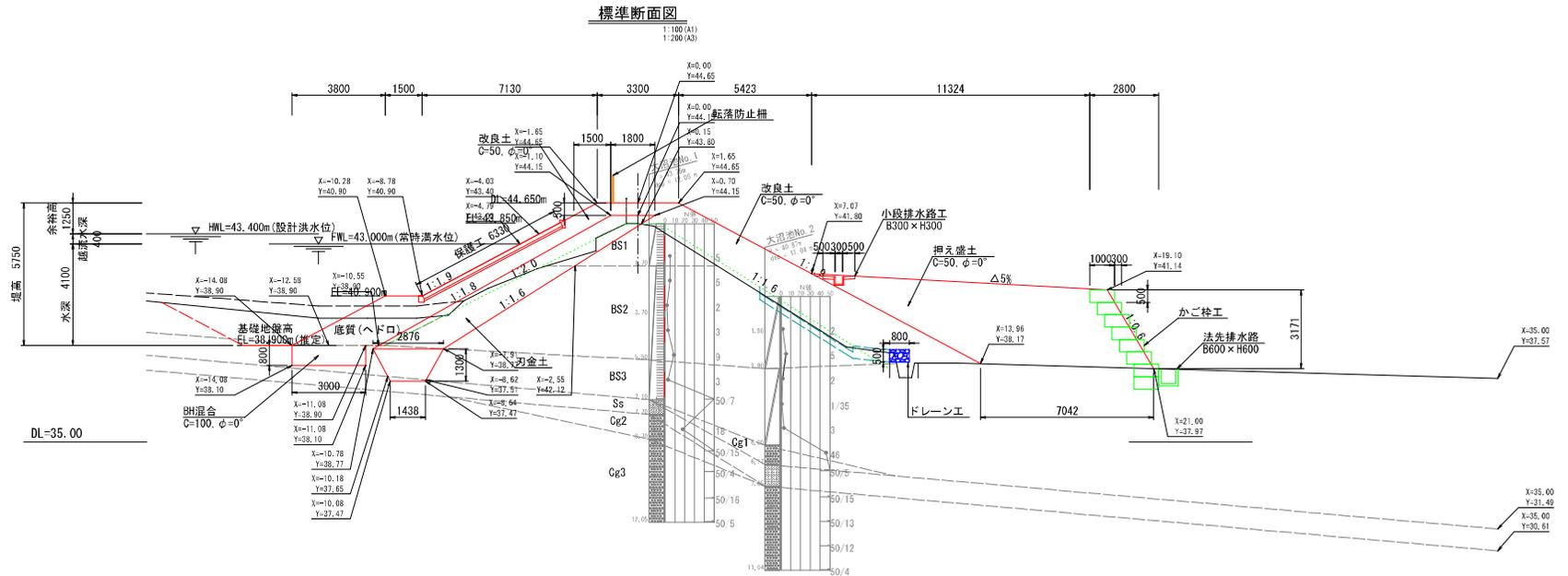
点名	X座標	Y座標
F-1	1000.000	5000.000
F-2	1003.338	4984.832
F-3	994.823	5003.830

中心点座標 (任意)

点名	X座標	Y座標
NO.0	993.854	5004.852
NO.016.70	1000.313	4939.069
NO.149.20	1003.242	4935.788
NO.244.50	1004.730	4930.581
NO.248.50	1004.375	4976.651

令和5年度
震災対策農業水利施設整備事業
(耐震性点検・調査計画) 静岡14期
(志太様原) 地区設計委託その2

図面の名称	図面の番号
大沼池 計画平面図 縮尺 1:250 (A3は1:500)	1
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図 勝 写	
事務所長	主任
主幹課長	係員



※ 現況堤体の標準断面

上流側土工数量

表土掘削	3.3	m ²
泥土掘削	9.6	m ²
床掘	2.8	m ²
堤体掘削	5.3	m ²
切土面荒仕上	11.0	m
BH混合固化	2.4	m ²
コアゾーン		
購入土盛土 (BUL+人力)	-	m ²
購入土盛土 (BUL+機械)	15.2	m ²
ランダムゾーン		
購入土改良土盛土 (BUL+機械)	8.5	m ²
流用土改良土盛土 (BUL+機械)	4.8	m ²
盛土面仕上	11.0	m
植生工	1.7	m
残土処理	15.7	m ²
護岸工	6.3	m

地質定数

地質年代	地質名	記号	地質名	単位体積重量		せん断有効応力		透水係数 k (m/s)
				湿潤重量 γ (kN/m ³)	飽和重量 γ sat (kN/m ³)	粘着力 c' (kN/m ²)	内部摩擦角 φ (°)	
現世	盛土1	BS1	機製じり砂質シルト	18.6	19.2	0.7	37.7	1.03 × 10 ⁻⁷
	盛土2	BS2	機製じり砂質シルト	19.2	19.2	0.8	33.1	3.89 × 10 ⁻⁶
	盛土3	BS3	機製じり砂質シルト	19.2	19.3	3.3	33.8	7.90 × 10 ⁻⁶
新第三紀	砂岩	Ss	—	22	22	98.1	41.9	—
	礫岩	Cg1	中風化	20	20	53.2	37.8	—
	礫岩	Cg2	強風化	18	18	39.1	35.7	—
	礫岩	Cg3	弱風化	21	21	74.5	40.1	—
	盛土			18	18.9	5	30	—
	改良土			18	18.9	50	0	—
	BH混合			-	-	100	0	—

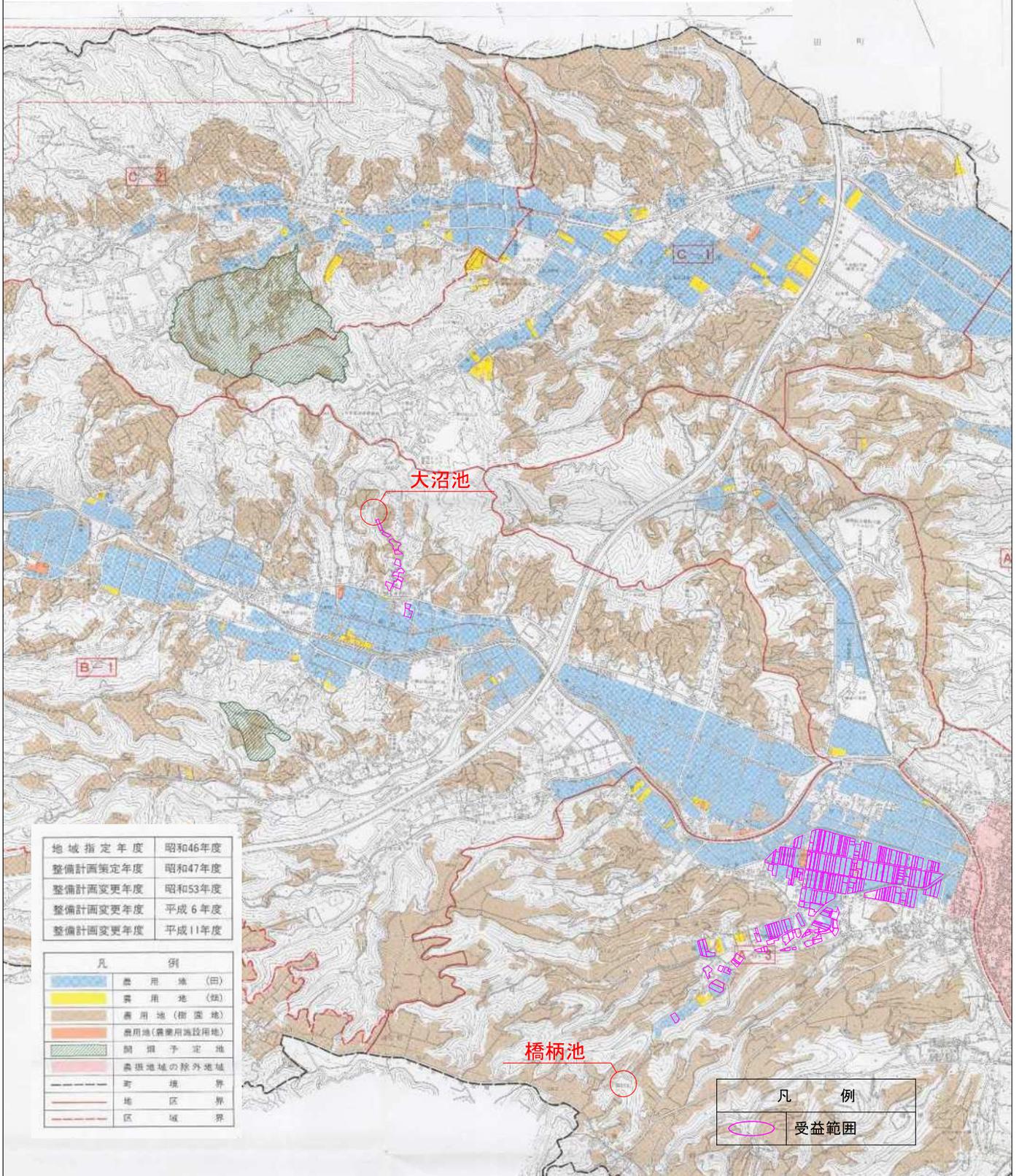
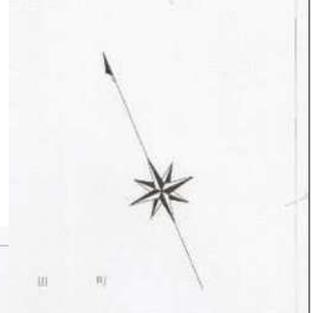
下流側土工数量

表土掘削	6.3	m ²
堤体掘削	-	m ²
切土面荒仕上	21.0	m
ランダムゾーン		
購入土改良土 (BUL+機械)	26.2	m ²
購入土 (BUL+機械)	30.5	m ²
盛土面仕上	23.0	m
植生工	10.5	m
残土処理	6.3	m ²

令和5年度
震災対策農業水利施設整備事業
(耐震性点検・調査計画) 静岡14期
(志太様原) 地区設計委託その2

図面の名称	図面の番号
大沼池 堤体工標準断面図 縮尺 1:250 (A3は1:500)	3
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図謄写	
事務所長	主任
主幹課長	係員

牧之原市土地利用計画図



地域指定年度	昭和46年度
整備計画策定年度	昭和47年度
整備計画変更年度	昭和53年度
整備計画変更年度	平成6年度
整備計画変更年度	平成11年度

凡 例	
	農用地(田)
	農用地(畑)
	農用地(樹園地)
	農用地(農業用施設用地)
	開墾予定地
	農振地域の除外地域
	市境
	地区界
	区域界

凡 例	
	受益範囲